

# 第50回（令和7年度）

いのうえ はるしげ



## 井上 春成 賞

### 候補技術募集

井上春成賞は創立50周年を迎えます

～ 独創的シーズからイノベーションを創造 ～  
研究者と開発企業の功績を表彰します

いのうえ はるしげ

「井上春成賞」は、国立研究開発法人科学技術振興機構の前身の一つである新技術開発事業団の初代理事長であり、工業技術庁初代長官でもありました故井上春成氏がわが国科学技術の発展に貢献された業績に鑑み、昭和51年に創設された賞であります。

本賞は、大学等や研究機関などの独創的な研究成果をもとにして企業が開発し企業化した優れた技術について研究者及び企業を表彰することを目的としており、皆さまのご協力により創設以来これまでに106件、212名の方々に同賞を贈呈してまいりました。

今般、第50回(令和7年度)井上春成賞表彰を迎えるにあたり、後援機関である一般財団法人新技術振興渡辺記念会様からのお申し出により、研究奨励金につきまして、今年度よりこれまでの1件100万円から1件200万円に増額となります。同財団の多大なるご協力に感謝申し上げますとともに、下記により第50回(令和7年度)井上春成賞表彰の候補技術を募集いたします。

#### 第50回(令和7年度)井上春成賞 候補技術募集について

1. 募集期間 **令和6年12月2日(月)～令和7年2月28日(金)**※締切当日消印有効
2. 表彰件数 原則として2件
3. 授賞者 原則として、表彰対象技術ごとの研究者1名および企業代表者1名
4. 贈呈式 令和7年7月14日(月) 於 日本工業倶楽部会館
5. 表彰内容  
表彰対象の研究者 ・賞状 ・賞牌 ・研究奨励金 200万円  
表彰対象の企業 ・賞状 ・賞牌

応募要項等詳細につきましては井上春成賞ホームページ(<https://inouesho.jp/>)にて令和6年12月2日以降公開します

#### 【井上春成賞についてのお問い合わせ先】

国立研究開発法人科学技術振興機構 総務部 総務課内

井上春成賞委員会事務局 担当: 矢口、平川

電話 048-226-5618 FAX 048-226-5651

E-mail [inouesho@jst.go.jp](mailto:inouesho@jst.go.jp)



令和6年12月2日

各位

井上春成賞委員会  
委員長 橋本和仁



## 井上春成賞候補技術推薦の御依頼

拝啓 寒冷の候、ますますご清栄のことお喜び申し上げます。

「井上春成賞」は、科学技術振興機構の前身の一つである新技術開発事業団の初代理事長であり、工業技術庁初代長官でもありました故井上春成氏がわが国科学技術の発展に貢献された業績に鑑み、昭和51年に創設された賞であります。

本賞は、大学等や研究機関などの独創的な研究成果をもとにして企業が開発し企業化した優れた技術について、研究者及び企業を表彰することを目的としており、皆様のご協力により創設以来すでに106件の顕彰を行っております。

今般、第50回（令和7年度）井上春成賞表彰を迎えるにあたり、後援機関である一般財団法人新技術振興渡辺記念会様からのお申し出により、研究奨励金につきまして、今年度よりこれまでの1件100万円から1件200万円に増額となります。同財団の多大なるご協力に感謝申し上げますとともに、下記により第50回（令和7年度）井上春成賞表彰の候補技術を募集いたします。本募集につきまして関係方面に広くお知らせ頂き、また、表彰候補としてふさわしいと思われる技術をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

### 記

- 募集期間 令和6年12月2日（月）から令和7年2月28日（金）まで  
なお、郵送の場合には令和7年2月28日（金）の消印有効
- 表彰件数 原則として2件
- 授賞者 原則として、表彰対象技術ごとの研究者1名および企業代表者1名
- 贈呈式 令和7年7月14日（月）
- 表彰内容 表彰対象の研究者 ・賞状 ・賞牌 ・研究奨励金 200万円  
表彰対象の企業 ・賞状 ・賞牌
- 主催機関 井上春成賞委員会
- 共催機関 国立研究開発法人科学技術振興機構
- 後援機関 一般財団法人新技術振興渡辺記念会

以上

## 添付書類

- (1) 井上春成賞候補技術の応募要項
- (2) 井上春成賞表彰技術の選考の考え方
- (3) 推薦書記入要領
- (4) 井上春成賞候補推薦書様式
- (5) 井上春成賞表彰技術ならび受賞者一覧

### [参 考]

#### 井上春成賞委員会の構成

委員長	橋本 和仁	国立研究開発法人科学技術振興機構 理事長
委員	岩渕 明	岩手大学 前学長
〃	片岡 正俊	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 元理事長
〃	下田 隆二	一般財団法人新技術振興渡辺記念会 専務理事
〃	中村 道治	国立研究開発法人科学技術振興機構 名誉理事長
〃	西本 清一	公益財団法人京都高度技術研究所 理事長
〃		地方独立行政法人京都市産業技術研究所 理事長
〃	濱口 道成	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター センター長 国立研究開発法人科学技術振興機構 前理事長
〃	藤嶋 昭	東京理科大学 総合研究院スペースシステム創造研究センター 特別顧問 東京理科大学 栄誉教授・元学長
〃	松永 道隆	NHK 京都放送局 総括デスク
〃	美馬のゆり	公立はこだて未来大学 教授 日本学術会議 会員
監 事	菅谷 行宏	株式会社アイ・エス・シー 代表取締役社長
〃	山田 理恵	東北電子産業株式会社 代表取締役社長

#### 井上春成賞選考委員会の構成

選考委員長 伊賀 健一 東京科学大学 栄誉教授・元学長

\* 選考委員会は委員長を含め15名の委員で構成され、委員の氏名は表彰技術決定後に公表いたします。

## 井上春成賞候補技術の応募要項

### 1. 井上春成賞の趣旨

井上春成賞は、大学等や研究機関などの独創的な研究成果をもとにして企業が開発、企業化した応募の中から特に優れたものを表彰する賞です。科学技術の進展に寄与し、快適な社会の形成、経済の発展、健康福祉の向上などに貢献したものを選考の趣旨とします。

### 2. 主催機関 : 井上春成賞委員会

共催機関 : 国立研究開発法人科学技術振興機構

### 3. 応募資格

研究者あるいは企業等のうち、少なくとも一方が日本国籍である組み合わせにより企業化された技術であることを要件とします。

### 4. 対象技術

(1) 大学等や研究機関などの独創的な研究結果であること

(2) 前項の研究結果を受けて企業が開発し、企業化した技術（販売実績があるもの）であること

(研究段階から開発、企業化まで自社のみで行ったもの並びに研究者および企業等の両者が外国籍の場合は対象となりません。)

(3) 科学技術の進展に寄与し、快適な社会の形成、経済の発展、健康福祉の向上などに貢献した技術であること

(中堅・中小企業技術の場合、技術上の特徴、市場特性についても別途考慮します。)

(4) 企業が実質的販売活動を始めてから、原則5年以内の技術であること

但し、短期間では成果が出にくい分野の技術については、その特性を考慮して、必ずしも実質的な販売活動を始めてから5年以内の技術であることにはこだわりません。尚、広く研究開発を奨励するために、大河内記念賞、日本産業技術大賞、市村産業賞 本賞、恩賜発明賞を受賞した技術を除きます。

### 5. 選考方法

学識経験者で構成される井上春成賞選考委員会(委員長 伊賀健一 東京科学大学 栄誉教授・元学長)において選考し、この推薦に基づき井上春成賞委員会が決定、表彰します。

### 6. 申込手続

井上春成賞候補推薦書：紙媒体2部

添付書類：会社概要、技術の詳細な内容、研究論文、特許公報、図面、写真、文献、新聞、雑誌切抜、カタログ、サンプル等審査の参考になるものを2部ずつ提出してください。

※提出書類は一切返却いたしません。尚、井上春成賞候補推薦書は当委員会のホームページよりダウンロードしてご使用ください。

[提出先およびお問合せ先]

〒332-0012 埼玉県川口市本町 4-1-8 (川口センタービル)

国立研究開発法人科学技術振興機構内 井上春成賞委員会事務局

電話 048-226-5618 FAX 048-226-5651

ホームページ：<https://inouesho.jp/>